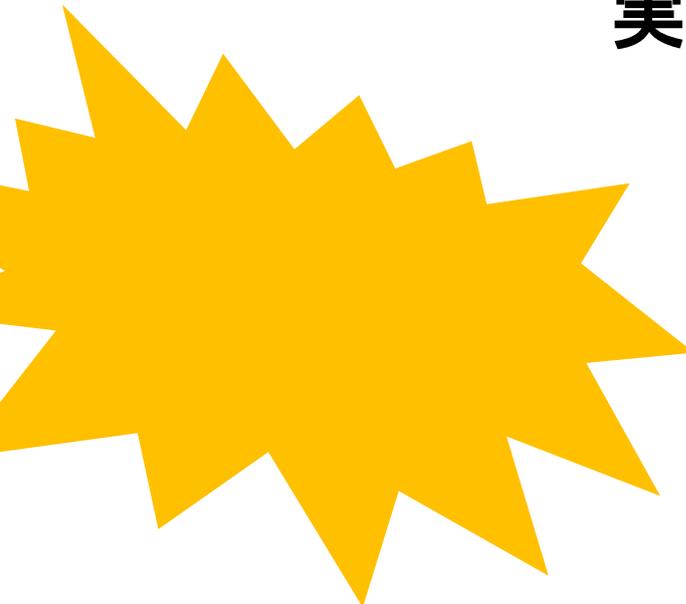




**令和6年度 第二回  
東淀川区BCP学びの場  
実施報告書**



令和6年12月



東淀川区役所地域課

## 目次

実施概要.....	1
内容.....	2
BCP取組状況チェック.....	2
ワークシートを用いたBCP策定演習.....	4
まとめ.....	4
別途資料	
令和6年度第二回東淀川区BCP学びの場ワークシートその1～その4	

### 実施概要

1. 名                  称：令和6年度第二回東淀川区BCP学びの場
2. 日                  時：令和6年12月13日（金）15：00～16：30
3. 会                  場：東淀川区役所4階 401会議室
4. コーディネーター：城下英行氏（関西大学社会安全学部准教授）
5. 主                  催：東淀川区役所地域課（担当：畠山、安田、森川）
6. 参 加 者 数：4人（4団体）
7. プログラム

- 1 開催挨拶
- 2 東淀川区役所のBCP策定支援について
- 3 令和6年度第二回東淀川区BCP学びの場

## BCP取組状況チェック

中小企業庁が作成している、「[中小企業BCP策定運用指針](#)」の「[BCP取組状況チェック](#)」を用いて自社の事業継続能力の診断を行った。この「BCP取組状況チェック」は、チェック項目が「人的資源」、「物的資源（モノ）」、「物的資源（金）」、「物的資源（情報）」、「体制等」の5つに分かれており、各項目「はい」か「いいえ」で回答し、「はい」の合計数によって診断結果が分かれるようになっている。今回参加者自身が自社のBCP取組状況を診断し、参加者同士発表をした。

### 人的資源

緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？
災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？
緊急時に必要な従業員が出勤できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？
定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？

「はい」の数・・・( ) 項目

 関西大学

人的資源では、「緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？」、「災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？」、「定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？」に「はい」と回答した参加者が多かったが、「緊急時に必要な従業員が出勤できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？」に「はい」と回答した参加者はいなかった。

### 物的資源(モノ)

あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？
あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？
あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？
あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？

「はい」の数・・・( ) 項目

 関西大学

物的資源（モノ）では、「あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？」、「あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？」に「はい」と回答した参加者が多かったが、「あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？」、「あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？」に「はい」と回答した参加者は少なかった。

### 物的資源(金)

1週間又は1ヵ月程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？
あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切かどうかを決定するために保険の専門家と相談しましたか？
事前の災害対策や被災時復旧を目的とした融資制度を把握していますか？
1ヵ月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？

「はい」の数・・・( ) 項目

 関西大学

物的資源（金）に関しては参加者が資金関係の担当ではないこともあるのか各項目「はい」の数が少なかった。

## 物的資源(情報)

情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？
あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？
主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか？
操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？

「はい」の数・・・( ) 項目

関西大学

## 体制等

あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？
緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？
社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか？
取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めていますか？

「はい」の数・・・( ) 項目

関西大学

## 「はい」の数による診断結果

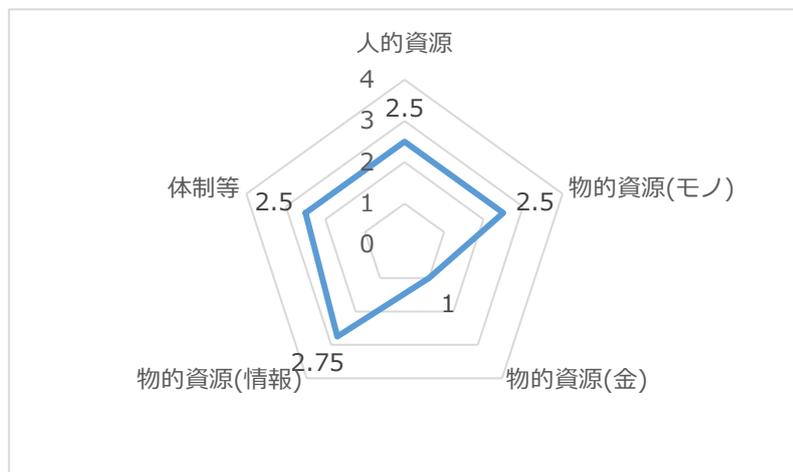
- 3個以下
  - 今、緊急事態に遭遇したら、あなたの会社の事業は長期間停止し、廃業に追い込まれるおそれ大です。早急に対応することから始めて下さい。
- 15個以下
  - 緊急時に備える意識は高いようですが、まだまだ改善すべき点が多いといえます。実践的なBCPを策定し、平常時から運用を進めることが必要です。
- 16個以上
  - あなたの会社では、BCPの考え方に則った取組みが進んでいるようです。会社のBCPをチェックし、より強力なものとするのが望まれます。

関西大学

物的資源(情報)では、「情報のコピーまたはバックアップをとっていますか?」、「あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか?」、「主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか?」に「はい」と回答した参加者が多かったが、「操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか?」に「はい」と回答した参加者はいなかった。

体制等では、「緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか?」、「社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか?」に「はい」と回答した参加者が多かったが、「取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めていますか?」に「はい」と回答した参加者は少なかった。

「はい」の数を合計すると、今回参加者4名みな、「15個以下」となった。また、各項目別に「はい」の数の平均を試算すると、人的資源が2.5個、物的資源(モノ)は2.5個、物的資源(金)が1.0個、物的資源(情報)が2.75個、体制等が2.5個となり、人的資源、物的資源(モノ)、物的資源(情報)、体制等は4項目のうち2~3項目「はい」が対し、物的資源(金)は「はい」の数が少なかった。



## ワークシートを用いたBCP策定演習



次に城下氏が用意したワークシート（別途資料参照）を用いてBCP策定・見直しの演習を行った。

ワークシートその1では、自社の中核事業（会社の存続に関わる最も重要性（または緊急性）の高い事業）を設定し、その事業の目標復旧時間、必要な業務、必要な資源（上記のBCP取組状況チェックでいう人的資源、物的資源がそれにあたる。）を記入した。参加者から「目標復旧時間は地震と水害とでは異なるのではないか」という意見が出たが、BCPを策定する上での目標復旧時間とはそ

れ以上中核事業を停止してしまうと倒産など、会社の業績に大きな影響を与えてしまうと考えられる時間である。どうしても地震や水害など個別に脅威の影響を考えてしまいがちだが、BCPを策定する上ではそれを度外視して経営の観点から設定する。

ワークシートその2では、自然災害や感染症などの脅威が中核事業に影響を与えるか与えないのかを診断し、目標復旧時間までに（ワークシートその1で記入した）必要な資源が機能回復できるか、（回復できないので）代替資源を確保するか、仕分け作業を行った。

ワークシートその3では、（機能回復できないので）代替資源を確保しなければならないものをどのように確保するかを記入した。また、機能回復できると想定した資源に対しては確保するための事前対策をソフトウェア対策、ハードウェア対策それぞれに分けて記入した。

ワークシートその1からその3が作成できるとBCPの大枠ができあがる。ワークシートその4では、例えば「震度6弱の地震が発生すればBCPの体制を発動させる」などBCPを発動させる基準や、その体制を記入した。

## まとめ

今回、異なる企業・事業所、異なる業種の方が参加し、BCPの取組状況をチェックし、ワークシートを記入し発表することでBCPを単なる計画（文書）にするのではなく、BCPの目的や理念を共有できた。BCPを策定することは大変重要であるが、BCPの目的や理念を共有することこそがBCPを策定・見直しする上でとても重要である。